



2025. 4. 7 発行 ニュースレター第332号  
 〒262-0019 千葉県花見川区朝日ヶ丘 5-24-2  
 TEL. 090-7941-7655 FAX: 043-483-0027 代表：小西 由希子  
 E-mail: yatsudasukisuki@gmail.com , Home Page: <http://www.ceic.info/>

**写真等無断転載禁止**

## 第1回谷津田めぐり参加報告

千葉県では2003年に「千葉県谷津田の自然の保全施策指針」を策定し、市内63の谷津から15地区を谷津田等保全地区として土地所有者と保全協定を締結し、保全を推進しています(現在は14地区)。そのうち10箇所が優先地区とされており、5地区において活動協定を結んだ7つの団体が鋭意、保全活動を進めています。ちば環境情報センターが谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)の対象として下大和田および小山の谷津も優先地区に含まれ、活動協定を締結して保全活動を行っています。2025年2月24日、保全に携わる市民団体が組成している谷津田ネットワークの企画による第1回谷津田めぐりに参加しました。



181	徳島	219	奥谷崎山	312	下大和田
182	徳島	221	高田	313	高木戸
183	徳島	222	高田中	314	下大和田
184	徳島	223	高田前	315	野島
185	徳島	224	平山	316	平川
186	徳島	225	支川(大田)	317	平川
187	徳島	226	高田	318	大田
188	徳島	227	大田	319	高木戸
189	徳島	228	大田	320	上野
190	徳島	229	大田	321	高木戸
191	徳島	230	大田	322	高木戸
192	徳島	231	大田	323	高木戸
193	徳島	232	大田	324	高木戸
194	徳島	233	大田	325	高木戸
195	徳島	234	大田	326	高木戸
196	徳島	235	大田	327	高木戸
197	徳島	236	大田	328	高木戸
198	徳島	237	大田	329	高木戸
199	徳島	238	大田	330	高木戸
200	徳島	239	大田	331	高木戸
201	徳島	240	大田	332	高木戸
202	徳島	241	大田	333	高木戸
203	徳島	242	大田	334	高木戸
204	徳島	243	大田	335	高木戸
205	徳島	244	大田	336	高木戸
206	徳島	245	大田	337	高木戸
207	徳島	246	大田	338	高木戸
208	徳島	247	大田	339	高木戸
209	徳島	248	大田	340	高木戸
210	徳島	249	大田	341	高木戸
211	徳島	250	大田	342	高木戸
212	徳島	251	大田	343	高木戸
213	徳島	252	大田	344	高木戸
214	徳島	253	大田	345	高木戸
215	徳島	254	大田	346	高木戸
216	徳島	255	大田	347	高木戸
217	徳島	256	大田	348	高木戸
218	徳島	257	大田	349	高木戸
219	徳島	258	大田	350	高木戸
220	徳島	259	大田	351	高木戸
221	徳島	260	大田	352	高木戸
222	徳島	261	大田	353	高木戸
223	徳島	262	大田	354	高木戸
224	徳島	263	大田	355	高木戸
225	徳島	264	大田	356	高木戸
226	徳島	265	大田	357	高木戸
227	徳島	266	大田	358	高木戸
228	徳島	267	大田	359	高木戸
229	徳島	268	大田	360	高木戸
230	徳島	269	大田	361	高木戸
231	徳島	270	大田	362	高木戸
232	徳島	271	大田	363	高木戸
233	徳島	272	大田	364	高木戸
234	徳島	273	大田	365	高木戸
235	徳島	274	大田	366	高木戸
236	徳島	275	大田	367	高木戸
237	徳島	276	大田	368	高木戸
238	徳島	277	大田	369	高木戸
239	徳島	278	大田	370	高木戸
240	徳島	279	大田	371	高木戸
241	徳島	280	大田	372	高木戸
242	徳島	281	大田	373	高木戸
243	徳島	282	大田	374	高木戸
244	徳島	283	大田	375	高木戸
245	徳島	284	大田	376	高木戸
246	徳島	285	大田	377	高木戸
247	徳島	286	大田	378	高木戸
248	徳島	287	大田	379	高木戸
249	徳島	288	大田	380	高木戸
250	徳島	289	大田	381	高木戸
251	徳島	290	大田	382	高木戸
252	徳島	291	大田	383	高木戸
253	徳島	292	大田	384	高木戸
254	徳島	293	大田	385	高木戸
255	徳島	294	大田	386	高木戸
256	徳島	295	大田	387	高木戸
257	徳島	296	大田	388	高木戸
258	徳島	297	大田	389	高木戸
259	徳島	298	大田	390	高木戸
260	徳島	299	大田	391	高木戸
261	徳島	300	大田	392	高木戸
262	徳島	301	大田	393	高木戸
263	徳島	302	大田	394	高木戸
264	徳島	303	大田	395	高木戸
265	徳島	304	大田	396	高木戸
266	徳島	305	大田	397	高木戸
267	徳島	306	大田	398	高木戸
268	徳島	307	大田	399	高木戸
269	徳島	308	大田	400	高木戸
270	徳島	309	大田	401	高木戸
271	徳島	310	大田	402	高木戸
272	徳島	311	大田	403	高木戸
273	徳島	312	大田	404	高木戸
274	徳島	313	大田	405	高木戸
275	徳島	314	大田	406	高木戸
276	徳島	315	大田	407	高木戸
277	徳島	316	大田	408	高木戸
278	徳島	317	大田	409	高木戸
279	徳島	318	大田	410	高木戸
280	徳島	319	大田	411	高木戸
281	徳島	320	大田	412	高木戸
282	徳島	321	大田	413	高木戸
283	徳島	322	大田	414	高木戸
284	徳島	323	大田	415	高木戸
285	徳島	324	大田	416	高木戸
286	徳島	325	大田	417	高木戸
287	徳島	326	大田	418	高木戸
288	徳島	327	大田	419	高木戸
289	徳島	328	大田	420	高木戸
290	徳島	329	大田	421	高木戸
291	徳島	330	大田	422	高木戸
292	徳島	331	大田	423	高木戸
293	徳島	332	大田	424	高木戸
294	徳島	333	大田	425	高木戸
295	徳島	334	大田	426	高木戸
296	徳島	335	大田	427	高木戸
297	徳島	336	大田	428	高木戸
298	徳島	337	大田	429	高木戸
299	徳島	338	大田	430	高木戸
300	徳島	339	大田	431	高木戸
301	徳島	340	大田	432	高木戸
302	徳島	341	大田	433	高木戸
303	徳島	342	大田	434	高木戸
304	徳島	343	大田	435	高木戸
305	徳島	344	大田	436	高木戸
306	徳島	345	大田	437	高木戸
307	徳島	346	大田	438	高木戸
308	徳島	347	大田	439	高木戸
309	徳島	348	大田	440	高木戸
310	徳島	349	大田	441	高木戸
311	徳島	350	大田	442	高木戸
312	徳島	351	大田	443	高木戸
313	徳島	352	大田	444	高木戸
314	徳島	353	大田	445	高木戸
315	徳島	354	大田	446	高木戸
316	徳島	355	大田	447	高木戸
317	徳島	356	大田	448	高木戸
318	徳島	357	大田	449	高木戸
319	徳島	358	大田	450	高木戸
320	徳島	359	大田	451	高木戸
321	徳島	360	大田	452	高木戸
322	徳島	361	大田	453	高木戸
323	徳島	362	大田	454	高木戸
324	徳島	363	大田	455	高木戸
325	徳島	364	大田	456	高木戸
326	徳島	365	大田	457	高木戸
327	徳島	366	大田	458	高木戸
328	徳島	367	大田	459	高木戸
329	徳島	368	大田	460	高木戸
330	徳島	369	大田	461	高木戸
331	徳島	370	大田	462	高木戸
332	徳島	371	大田	463	高木戸
333	徳島	372	大田	464	高木戸
334	徳島	373	大田	465	高木戸
335	徳島	374	大田	466	高木戸
336	徳島	375	大田	467	高木戸
337	徳島	376	大田	468	高木戸
338	徳島	377	大田	469	高木戸
339	徳島	378	大田	470	高木戸
340	徳島	379	大田	471	高木戸
341	徳島	380	大田	472	高木戸
342	徳島	381	大田	473	高木戸
343	徳島	382	大田	474	高木戸
344	徳島	383	大田	475	高木戸
345	徳島	384	大田	476	高木戸
346	徳島	385	大田	477	高木戸
347	徳島	386	大田	478	高木戸
348	徳島	387	大田	479	高木戸
349	徳島	388	大田	480	高木戸
350	徳島	389	大田	481	高木戸
351	徳島	390	大田	482	高木戸
352	徳島	391	大田	483	高木戸
353	徳島	392	大田	484	高木戸
354	徳島	393	大田	485	高木戸
355	徳島	394	大田	486	高木戸
356	徳島	395	大田	487	高木戸
357	徳島	396	大田	488	高木戸
358	徳島	397	大田	489	高木戸
359	徳島	398	大田	490	高木戸
360	徳島	399	大田	491	高木戸
361	徳島	400	大田	492	高木戸
362	徳島	401	大田	493	高木戸
363	徳島	402	大田	494	高木戸
364	徳島	403	大田	495	高木戸
365	徳島	404	大田	496	高木戸
366	徳島	405	大田	497	高木戸
367	徳島	406	大田	498	高木戸
368	徳島	407	大田	499	高木戸
369	徳島	408	大田	500	高木戸
370	徳島	409	大田	501	高木戸
371	徳島	410	大田	502	高木戸
372	徳島	411	大田	503	高木戸
373	徳島	412	大田	504	高木戸
374	徳島	413	大田	505	高木戸
375	徳島	414	大田	506	高木戸
376	徳島	415	大田	507	高木戸
377	徳島	416	大田	508	高木戸
378	徳島	417	大田	509	高木戸
379	徳島	418	大田	510	高木戸
380	徳島	419	大田	511	高木戸
381	徳島	420	大田	512	高木戸
382	徳島	421	大田	513	高木戸
383	徳島	422	大田	514	高木戸
384	徳島	423	大田	515	高木戸
385	徳島	424	大田	516	高木戸
386	徳島	425	大田	517	高木戸
387	徳島	426	大田	518	高木戸
388	徳島	427	大田	519	高木戸
389	徳島	428	大田	520	高木戸
390	徳島	429	大田	521	高木戸
391	徳島	430	大田	522	高木戸
392	徳島	431	大田	523	高木戸
393	徳島	432	大田	524	高木戸
394	徳島	433	大田	525	高木戸
395	徳島	434	大田	526	高木戸
396	徳島	435	大田	527	高木戸
397	徳島	436	大田	528	高木戸
398	徳島	437	大田	529	高木戸
399	徳島	438	大田	530	高木戸
400	徳島	439	大田	531	高木戸
401	徳島	440	大田	532	高木戸
402	徳島	441	大田	533	高木戸
403	徳島	442	大田	534	高木戸
404	徳島	443	大田	535	高木戸
405	徳島	444	大田	536	高木戸
406	徳島	445	大田	537	高木戸
407	徳島	446	大田	538	高木戸</

真言宗の寺院、金光院（こんこういん）から谷に降りていくと一面のアシ原でした。田んぼの環境は失われていますが、ニホンアカガエルやヘイケボタルなど貴重な生きものの生息場所となっていることから千葉市の保全区域に指定され、ボランティアの皆さんによってアシを除いて池や水路が整備され、また、一部は田んぼに復活されて、生きもののオアシスとなっています。実際この季節、あちこちの池にたくさんのアカガエルの卵塊が産み付けられており、その一つ一つに竹の棒を立てて丁寧に調査、記録していっしょなのが印象的でした。近くを御成街道が通って由緒あるお寺があり、谷津田が広がっていた頃はどんなにか素敵な風景だったのだろうと想像を膨らませながら散策しました。

### 3. 坂月川ビオトープ

（若葉区小倉町；都川水系、坂月川愛好会）



坂月川は都川中流の右岸に北から流れ込む支流で、谷頭の貝塚町から合流地点まで3kmほどの長さがあります。源流域は住宅地で暗渠の水路となっていますがそれでも驚くほど豊富な水量でした。かつては水田が広がっていたのですが、泥深くて耕作が容易でないことから放棄されたそうです。ビオト

ープの西に宅地が迫っている一方で東側に小倉市民の森があることもあり、坂月川愛好会の皆さんの維持管理のお蔭で豊かな自然が復活しています。とても日当たりが良い水たまりに今年は早々の1月にニホンアカガエルが産卵したとのことで、オタマジヤクシが元気に泳いでいました。作られたせせらぎや池、田んぼに様々な生きものが暮らせる環境が作られ、モズやタシギなどの野鳥の姿が見られました。夏にはホタルが乱舞するそうで、活動のお蔭で地元の方の素敵な憩いの場が創生されています。



ちば環境情報センターの谷津田保全活動（YPP）に参加している者として、他の団体の活動の場や活動の様子、抱える課題などを直接知ることは良い勉強になり、今後の活動の刺激となるととても有益な機会でした。昨年の情報センターのニュースレターに書かせていただきましたように千葉の谷津田保全は農家の高齢化、減少により待ったなしの危機的な状況にあります（“谷津田に忍び寄る黒い影 その1～3”、ニュースレター第326～328号）。自らの活動地域だけでなく、より広い視野で見て考えることの大切さを改めて感じました。

## イシガメのたま子からの手紙

緑区下大和田のコシヒカリの田んぼ在住 聞き手：市原市 南川 忠男

わたしは下大和田に住んでいる10歳のクサガメのメスのたま子です。2014年8月に母の亀子が産んだ卵から10月に中央土水路の土手で1cmくらいの大きさに産まれました。いっしょに生まれたのはメス6頭とオス3頭でした。あれから10年兄弟・姉妹とは2回だけ会いました。性染色体をもたないので、孵化するまでの環境温度でオスかメスに分かれ、地球温暖化で地面の温度が上がってきているので、メスが生まれる割合が増えて困っています。

2025年1月の谷津田観察会の日に小西代表と南川さんが冬眠から覚めかけて人間たちが米作りをしていたYPP田んぼでわたしの足跡を発見しました。朝は氷が張っていて気が付かなかったのだと思います。

氷が解けた11時ごろ、わたしの足跡がついているのがわかったようです。おなかがすいたので餌を



たま子を持つ聞き手の南川さん

食べました。冬なので根深いアシや雑草も葉を落としていたので歩きやすかったです。小西代表は足跡を見て「クサガメかイシガメだね」と南川さんに言っていました。「そうなの、あの時の亀子の子供よ」と言いたかったです。

メスの方が成長するにつれ、頭が大きくなるので、わたしは初めて水路で出会っても相手がオスカメスかわかります。3回目の産卵をしたいのですが、下大和田の谷津田ではめったにオスに出会えないので、どうしているか知っていますか？カメは他の爬虫類と違って、3、4年の間、相手の精子を体に蓄えることができるので、オスに出会えなくても卵がしばらくは産めるんですよ。人間がこうなったら大変ね。

この前、網代お兄さんの田んぼ（もっと下流）を

這っていたら、仲間のクサガメが首なしで死んでいました。鋭い爪で首をアライグマ（あるいはイノシシ）がえぐりだして食べられたみたいです。この10年夜土手の穴で寝ているとアライグマが近くを走っていく音をよく聞くようになりました。臭いで我々のすみかが分かるので、田んぼの南の荒地は草が茂っていてアライグマが通らないので今はそこに住んでいます。

食べているのは水の中にいる昆虫、小さな魚、ミミズ、水草です。食べた後は早く消化できるように体温を上げるため陸に上がり、甲羅を温めています。わたしたちの仲間の数がだんだん減ってきたのはきれいな水辺が減ってきたからとさっきの害獣です。わたしが長生きして20歳の時(2035年)にも出会えることを楽しみにしていますよ。 たま子より

## 新浜の話86 ～ SSCS のインターン ～

1990年代に入ると、東京動物専門学校や日本動物植物専門学校、少し遅れて東京環境工科専門学校、東京コミュニケーションアート専門学校など、野生動物や環境保護をテーマとした専門学校ができてきました。こうした専門学校や大学の獣医学科などから学生さんたちが実習にこられるようになりました。インターンさんは2週間から1ヶ月ほどの実習期間、野鳥病院で傷病鳥に餌をやったり、禽舎やプールの掃除をしたり、一方では観察路の草刈りや土木作業など、スタッフと同じ作業をします。学校によっては毎日のようにレポートを出し、指導者である私たちがコメントを書くことも。若くて熱心なインターンさんたちと接する時間はとても楽しく勉強になるものでしたが、真剣勝負のコメント書きを「喉元に突き付けられた刃」と表現したこともあります。

2003年のこと、トヨタ財団の研究コンクールでお世話になり、後にNPO法の制定に大きく貢献された山岡義典さんが立ち上げられた市民社会創造ファンドから、新しくできたSSCSのインターン受け入れ先にならないか、というお話がありました。SSCSというのはsmall school for civil societyの略称。和光大学の石原静子先生などが提唱者となり、学生を対象に、それぞれのNPO法人（これを社会の中の小さな学校とみなす）に送り込み、ともに働くことで学んでもらう、というもの。学校からのインターンと異なる点は、まず対象となる学生さんに奨励金（交通費も）（アルバイト賃金よりは安い）が出ることで、そして受け入れ先となるNPO法人にも学生ひとりにつき月額3万円という謝礼が出ることで。受け入れ期間は1年、その間に各NPOでの業務をこなすほか、全体での報告会へのレポートや発表も行います。

これはとても面白いチャレンジでした。受け入れるNPOは、いつも不足している資金と労働力が得ら

千葉県野鳥の会 市川市 蓮尾 純子

れます。学生さんにとっては新たな経験と学びの場です。ひとつのNPOでの受け入れは3年間。書面や面接による審査で採否を決めます。一期生は福永杏・石山大の2名、二期生は庭野裕・奥名美智子の2名、最終の三期生は南公一郎1名。石山大さんは後の「CCC（クリスマス・コーモラント・カウント）」を立ち上げ、福永杏さんは後の「いきものマップ」で中心を務められました。他の方々もそれぞれ他団体や施設との交流など独自の活動をされて、新しい風を吹き込んでくれました。

同じSSCSに属した他のNPO法人との交流もあり、知的障害者の福祉・支援を行っていた「ばれっと」とは3年にわたって一緒に観察会などを実施しました。成果発表会の時、ホームレスの方たちの支援をされるNPOが出展された、カラフルな木綿糸を素材に用いた1cmにも満たない小さな小さな豆ぞうりには、涙が出そうになりました。どれほどの感謝が込められたものであったか。

審査にもれた候補生を友の会独自のインターンとして採用し、バイト生とは少し異なるスタンスで働き、学んでもらおうという試みをはじめました。交通費と若干の謝礼にあてる資金は、受け入れ団体に対する謝礼金を活用します。バイトさんの仕事は、当然ながらその時々業務の都合や効率で決まります。インターンさんもやることは同様ですが、彼らの興味ややりたいことを優先するようにしました。学生さんが対象のSSCSと異なり、友の会インターンでは社会人も受け入れました。今の「あいねすと（市川市行徳野鳥観察舎）」の中心を担う中村麻衣さんや、ホームページを担当されている吉村理子さんも、社会人インターン出身です。

優れた人材を輩出したインターン制度でしたが、コロナ禍を経た後、今は休止状態と聞きました。



参考文句: 替在意識が答えを知っている!  
マクスウェル・マルツ著  
@レッツ、前向き!

## リスの森プロジェクトスタート

私たち手入れをお引き受けしている下大和田の山林で、昨年ニホンリス（以下リスと略称）の生息が再確認されました（ニュースレター327号参照）。私たちの山には餌の松ぼっくりができるアカマツは3本しかありません。周辺にもアカマツはありません。そこでリスの餌となる実なる木を植えることにし、「リスの森プロジェクト」と称し活動することにしました。

リスについての勉強会の際、リスの好む餌としてクルミやヒメグルミもあげられていました。伊勢戸銘木店で育てたヒメグルミの苗70本を譲り受け植えることにしました。

さあ！ リスが飛び交う山林を夢見て「リスの森プロジェクト」のスタートです。

3月23日（日）森の手入れの日に50本ほどの苗を植えました。

4月1日（火）には十文字学園の中・高校生によるボランティア体験で14本の苗を植えました。同時にヒメグルミの実も埋めました。実生苗でまだ小さいので草刈の時に刈ってしまわないよう目印の赤いテープを軽く結わえました。

ちば環境情報センター 網代春男

## <下大和田 今年の米づくり>

### ・日程

4月5日 種まき（緑米） 5月17日 田植え

6月14日・7月5日 草取り 10月25日 稲刈り 11月8日 脱穀

### ・復田について

これからの復田は田植えの傍らで少しずつ、田の周辺を整えていきますので復田の特別の日程は入れません。

ちば環境情報センター 平沼勝男

## 2025年度 会費お振込みのお願い

下大和田谷津田の開発問題では多くの皆様が気にかけてくださり心よりお礼申し上げます。皆様には引き続き会員さんとして応援いただきたく、会費お振込みのお願いをいたします(下記参照)。季節柄くれぐれもご自愛くださいようお祈り申し上げます。

2025年4月1日 NPO法人 ちば環境情報センター代表 小西由希子

お振込は (1) または (2) ①, ②でお願いいたします。(1) 同封の振込用紙で振り込む (2) 千葉銀行 またはゆうちょ銀行の口座に振り込む ①千葉銀行 普通預金 本店営業部 (店番号) 100 口座番号 3627678 特定非営利活動法人 ちば環境情報センター 代表小西由希子 ②ゆうちょ銀行 普通預金 店名〇五八 (ゼロゴハチ) 店番 058 記号 10560 番号 55564681 トクヒ) チバカンキョウジョウホウセンターなお、寄付される場合や複数年度の会費入金の際は、その旨を明記してください。

<会費>正会員 5,000 円、一般 2,000 円、学生 1,200 円、賛助 10,000 円

【発送お手伝いのお願い】ニュースレター2025年 5月号 (第333号) の発送を 5月 7日 (水) 10時から千葉市民活動支援センター (千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館9階)にておこなう予定です。お手伝いいただける方は事務局 (小西 090-7941-7655) までご連絡ください。

あなたも入会しませんか ..... キリトリセン .....

住所〒 \_\_\_\_\_  
ふりがな \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ Tel \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

会費の郵便振替口座は 00130-3-369499 です。

NPO法人ちば環境情報センターのニュースレターとイベント情報は、リサイクルペーパーを使用しています。

編集後記: 下大和田でのニホンアカガエルの産卵はほぼ終了しました。3月23日までに見つかった卵塊数は127個。昨年は118個でしたのでほぼ同じ状況でした。2019年に1404個の卵塊が記録されたのをピークに減少が続いています。原因としては、アライグマの捕食やイノシシによる田んぼの破壊など考えられますが、米づくりができなかったことの影響もあるかもしれません。来年も引き続きアカガエルが産卵できる環境を維持していきたいと思います。 mud-skipper



## <小山町での活動>

☆第 234 回 小山町 YPP「苗代づくり」 2025 年 3 月 30 日（日）晴れ 報告：吉田美雪

雑草取りと苗代づくり、種籾まきをしました。前はカエルの卵だらけでしたが、今日は小さなオタマジャクシで足の踏み場もないくらいでした。苗代用の竹の枠組みをセットしてもらい、万能（まんのう）鍬で土を集め枠の中に積んでいきます。田んぼの土はトロトロで、万能ですくうのはとても難しかったのですが、離れたところの土をすくう人とリレーしたりとだんだんコツを掴み、2 個目の苗代からはあつという間に作ることができました。小学校の田植えで使う種籾と YPP 田んぼの赤・黒・緑米の種籾をまいてぺたぺた鎮圧をし、鳥よけのネットをかけ、その端を土の中にしっかり埋めます。やがて芽が出て苗ができ、たくさんの小学生がきゃっきゃと田植えをする日が楽しみです。参加者 11 名（大人 10 名、小学生 1 名）

【谷津田・季節のたより】 2025 年 3 月

<下大和田町> 報告 平沼勝男

3/15 シュレーゲルアオガエルが盛んに鳴き始めました。森のウグイスのさえずりもあり、とてにぎやかです。水田ではニホンアカガエルのオタマジャクシが少ないながらも泳ぎはじめた。まだ小さくてとてもかわいい姿です。ミナミメダカの群れは活発に泳いでいました。オオタニシの歩んだ跡が筋になっています。モンシロチョウやモンキチョウが飛んでいました。新緑はもう少し先ですが、生きものはだいぶ春らしくなってきました。

<小山町> 報告 た：たんぼぼ い：碓夕子・泰洋 高：高山邦明

- 3/6 今季ほとんど見ていないツグミを 2 羽で田んぼの畦で観る（高） 3/8 フキノトウが顔を出す（高）
- 3/9 ヤマドリ目の前で母衣打ち披露。タシギを観る（た）
- 3/13 久しぶりの雨の後、アカガエルの卵塊が急増、3 月に入ってようやく産卵のピークを迎えた様子で記録的に遅い、シュレーゲルアオガエルが鳴く（高） 3/17 林で芽吹きが始まり、イヌシデが出葉（高）
- 3/18 ツクシが顔を出し、ケキツネノボタンが咲き始める（高）
- 3/19 真冬のような寒さ、ミズレ降る（た）、谷津の奥にミソサザイの姿（高）
- 3/21 アズマヒキガエルが田んぼに産卵、林縁でキブシ、タチツボスミレが咲く（高）
- 3/23 アオジがさえずる、モンシロチョウ、モンキチョウ、アゲハが飛ぶ（高）
- 3/25 コジュケイペア、モンシロチョウ、カワトンボのヤゴを観る（た）、梢でシロハラがさえずる（高）
- 3/26 田んぼで餌を探していたキジバトの群れにオオタカが襲いかかるが失敗。田んぼの畦で時折見かけるキジバトの羽根はオオタカの食痕か？（高）
- 3/28 こんもり育ったタチツボスミレの花があちらこちらに咲く（た）
- 3/28 田んぼの畦にヤマカガシがいた（い）、クロモジやヤマザクラが開花、田んぼの畦をイタチが駆けていく（高）。 3/30 もうじき 4 月というのにアカガエルの新しい卵塊が産み付けられていた（高）

【イベントのお知らせ】主 催：NPO 法人 ちば環境情報センター

連絡先：小西 TEL. 090-7941-7655 , E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

## <下大和田谷津田>

### ・森と水辺の手入れ

日 時：2025 年 4 月 20 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天中止

内 容：4 月 5 日に種を蒔いた緑米田んぼの整備をします。森の手入れも行います。

持ち物：長靴、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物など 参加費：無料

### ・森の手入れ

日 時：2025 年 4 月 27 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天中止

内 容：森の下草刈りなど観察路の整備を整理します。

持ち物：動きやすい服装（長そで長ズボン）、森で活動できる靴、帽子、手袋、飲み物 参加費：無料

### ・第 304 回 観察会とゴミ拾い

日 時：2025 年 5 月 4 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天決行

内 容：緑深まる晩春の谷津田。盛んに飛び回るチョウやトンボなどを観察しながら谷津を巡ります

持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、弁当、敷物 参加費：100 円

## <小山町谷津田>

### ▼第 235 回 小山町 YPP「田んぼの手入れ」

日 時：2025 年 4 月 12 日（土） 10 時 00 分～ ☆小雨決行

内 容：5 月の田植えに向けて田んぼの手入れをします。

場 所：小山町谷津田 ※ 参加ご希望の方は、赤シャツ親父 (e-mail: tomizo\_i@nifty.com)までご連絡下さい。

